

障害者とは？

～精神障害・発達障害について～

ハローワーク豊岡

精神・発達障害者雇用サポーター：信免

そもそも障害者って？

◎身体障害、知的障害又は精神障害があるため、
継続的に日常生活又は社会生活に相当な制限を受ける者

障害者手帳は3種類

<身体障害者手帳>・・・1級～6級

<療育手帳>・・・A・B1・B2の3段階

<精神障害者保健福祉手帳>・・・1級～3級

障害の種類は多岐に渡り、手帳だけでは判断できない

精神障害とは？

<精神疾患名>

- ・統合失調症
 - ・気分障害(うつ・そう病)
 - ・神経症(パニック障害、強迫性障害、PTSD等)
 - ・依存症(アルコール、薬物、ギャンブル等)
 - ・パーソナリティ障害(境界性、自己愛性等)
 - ・てんかん
 - ・発達障害
 - ・高次脳機能障害
- などなど

➤雇用支援対象となる精神障害者

- ・統合失調症
- ・そううつ病(そう病及びうつ病を含む)
- ・てんかん
- ・精神障害者保健福祉手帳所持者

かつ、『症状が安定し就労が可能な状態の者』

各疾患について

○統合失調症

<症状>

幻覚・妄想・思考の混乱
意欲の低下・感情の平板化
集中力・記憶力の低下

<発症の特徴>

10～30代の若い世代で発症
全体の1%弱が罹患

<通院・服薬>

服薬治療が中心
症状が改善されても一定期間は
服薬必要

○そううつ病

<症状>

憂うつ・悲観・絶望感等の意欲や
思考の変化
不眠・疲れやすい・食欲低下・亢進
気分高揚・イライラ感・飛躍思考

<発症の特徴>

うつ病は15人に1人罹患
中高年での発病も少なくない

<通院・服薬>

うつ病...服薬と休息が基本
そううつ病...服薬治療が中心

○てんかん

<症状>

脳の神経が一時的に激しく活動
するためにおこる発作
部分発作や全般発作など発作の
起こり方や頻度も人それぞれ違う

<発症の特徴>

3歳以下での発病が最も多い
18歳以下での発病が8割占める
近年脳血管障害での発病も増

<通院・服薬>

継続的な服薬治療が中心

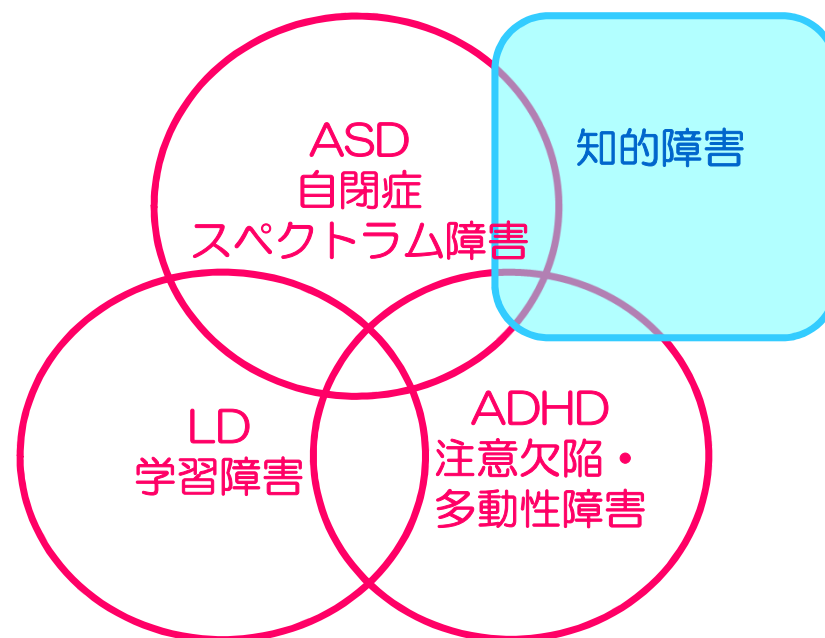
発達障害とは？

【自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害、その他これに類する脳機能の障害であってその症状が通常低年齢において発現する障害を有するもの】

➤一口に発達障害と言っても・・・

➤『障害特性』という言葉を使う

➤特性と上手に付き合う



自閉症スペクトラム (ASD)

○障害特性

・社会性の障害

⇒暗黙のルールに混乱する
関係性の構築・維持が難しい

・興味の偏りの障害

⇒複数の事柄に対し優先順位を決めれない
急な予定変更は不安になる

・コミュニケーションの障害

⇒言葉通り受け止める
相手の気持ちを考えず発言する

・(人によって)感覚過敏・鈍麻、手先の不器用さ

⇒急に大きな音がするとパニックになる
化学繊維が苦手で触れるとかゆくなる
両手同時に同じ力をこめることが苦手 等

注意欠陥・多動性障害 (ADHD)

○障害特性

・不注意

ケアレスミスが多い
スケジュール管理が苦手
ものを無くすことが多い

・多動、多弁

じっとしてられない
コートを着る前にドアを
出る
一方的に話す

・衝動性

順番を待てない
待たなくて良い状況に
する
金銭管理が苦手

全ての特性が出現するわけではない

- ・不注意傾向が強い人
- ・衝動性傾向も不注意傾向も混在する人

など、人それぞれ

学習障害 (LD)

○障害特性

- 読み書きや計算など特定の課題が困難
- 知的発達の遅れなし

⇒他の特性がないため勉強不足が原因と思われがちだが、
視空間認知（物の見え方が違う）の障害と言われている